

ハクセル美穂子の
ポリティカル・テーマ

Growing
Together!
みんなで創る「いわて」

いわて
県政レポート
2021
夏号

岩手県議会議員

ハクセル 美穂子

MIHOKO
HUXEL

100年先も
「いわて」が「いわて」であるように、
みんなで創る「いわて」



ハクセル美穂子プロフィール

昭和50年3月6日 雫石町生まれ
◎家族/アメリカ人の夫、4人の息子(中3、中1、小6、小3)
◎職業/英会話教室経営
◎趣味/読書、フラワーアレンジメント、散歩、博物館めぐり
◎学歴/雫石町立御明神小学校[S62卒]・雫石町立雫石中学校[H2卒]・盛岡第四高等学校[H5卒]・岩手大学農学部[H9卒]
◎経歴/平成9年 雫石町役場入庁
平成17年 夫とともにアメリカへ移る
平成18年 (株)Shady Grove Intl設立 代表取締役就任
平成27年 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区初当選
令和元年9月 岩手県議会議員選挙滝沢選挙区2期目の当選

f ハクセル美穂子オフィシャルFacebook
<https://www.facebook.com/mihokopage/>



ハクセル美穂子 これまでの活動

2021年
1~3月

2021年
4月

2021年
5月

2021年
6月

◎1月23日
主要地方道重茂半島線
完工式典に出席しました。

◎2月25日~3月25日
2月定例会が開かれました

私は、予算特別委員会総括質疑に会派を代表して登壇し、コロナ禍中の中小企業支援策について等を質問いたしました。

岩手県は令和3年度も中小企業支援策として融資枠800億円の新型コロナウイルス感染症対策資金貸付金と融資枠200億円の新型コロナウイルス感染症対応資金貸付金を確保していますが、令和2年度の支援状況を十分に検証した上で予算積算がなされたのか、コロナ禍中、厳しい経営環境におかれている中小企業の支援策が、それを必要とする事業者にも活用してもらえるような内容に改善されたのかについて知事および執行部に対し質疑をしました。

詳しい質疑の内容は、県議会HP会議録にも掲載されていますので、ご一読ください。
(会議録はQRコードから→)



2月定例会予算特別委員会総括質疑-1



2月定例会委員長報告



◎15日
臨時議会が開かれました。

新型コロナウイルス感染症対応予算を審議しました。詳しくはウラ面アセンブリーニュースでご紹介します。

◎5月18日~19日
商工建設委員会県内・東北ブロック調査

貯水がはじまった盛岡市の梁川ダムや工事が終盤に差し掛かっている三陸沿岸道路等を調査しました。また、エネルギーの地産地消に取り組む地域の電気小売事業者である久慈地域エネルギー株式会社を訪れ、その取り組みについてお話をうかがいました。詳しくは、ウラ面コラムでご紹介します!

◎5月24日
臨時議会が開かれました。

◎5月26日
私学振興議連県内調査

私学振興議員連盟の所属議員で、花巻東高校と盛岡スコレ高校の取り組みを調査しました。それぞれ個性を活かした学校経営に取組み、成果を上げていました。県内公立高校も学ぶところがたくさんあると改めて感じた調査でした。

◎6月7日
盛岡広域振興局地域課題懇談会

盛岡広域振興局幹部職員との地域課題を懇談する会に出席し、具体的な地域課題等について意見交換をしました。

◎6月22日~7月6日
6月定例会が開かれました。

6月定例会では、国から再配分された新型コロナウイルス感染症対策関連予算等を含む予算議案1件、条例議案13件、請負契約議案1件、その他議案3件、合計18件の議案が審議されました。詳しい事業内容は、ウラ面アセンブリーニュースでご紹介しています。



ご利用ください! 新型コロナウイルス 感染症対応分の予算が 可決されました。

5月24日に岩手県議会臨時議会が開かれ、新たに国から配分があった「新型コロナウイルス感染症対策関連予算」が可決されました。

私が委員長を務める商工建設委員会では、前々年の同月に比べて売上げが50%以上減少または連続する3カ月の売上の合計が前々年の同期と比べて30%以上減少している中小企業者等に対する支援金を支給する【地域企業経営支援金支給事業】や宿泊事業者が感染症対策をおこないながらワーケーションに対応したスペースを設置するなどの新しい取組みに対する経費の一部支援(補助率50%、上限500万円)事業について予算が計上されました。

【地域企業経営支援金支給事業】は、7月12日から受付がはじまりました。第1弾と同様に各地域の商工会議所や商工会が窓



口になりますので、該当する皆さまはぜひご利用ください。

また、6月定例議会においても、新型コロナウイルス対策関連予算が可決されました。主な事業は、次のとおりです。



- 消防学校や県民会館・公会堂等の県有施設のトイレ洋式化に要する経費
- 全国障がい者スポーツ大会等、全国規模の各種スポーツ大会への派遣に伴うPCR検査経費
- 新型コロナウイルス感染症患者宿泊療養施設等受入体制の整備に要する経費に対す補助
- 公共交通の運行を担うバス事業者やタクシー事業者を支援するための交付金
- 「いわてGo To Eatキャンペーン」第2弾、いわて飲食店応援事業(詳細は下のQRコードから)
- 県産品の消費・販路拡大のための、買うならいわてのもの運動展開事業
- 県産米・県産牛肉の販路拡大、情報発信のための経費
- 県立学校・私立学校の修学旅行キャンセル料等を支援する経費

これらの事業は、今後、市町村や商工会議所、商工会等いろいろな窓口を通して県民の皆さまのお手元に届いていく予定です。



キャンペーンHP
<https://www.iwate-gotoeat.jp/>

「いわて女性のスペース・ミモザ」できました。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、不安を抱えている女性の皆さまに対する支援策の一環として、女性支援の拠点「いわて女性のスペース・ミモザ」が盛岡市と花巻市に開設されます。

女性の支援拠点【ミモザ】には、不安を抱える女性が悩みを相談できる窓口や、ピアサポートの場となるサロン等が開設され、女性の孤独や孤立の解消につなげるための活動を展開します。また女性用品を手に入れることができず困っている方々へ女性用品をお届けする事業等も行います。

ミモザ北【県央・県北エリア】と、ミモザ南【県南エリア】と支援拠点が県内に二つ設置され、それぞれ「NPO法人インクルいわて」と「NPO法人まんまるママいわて」が運営を委託、相談や利用は無料です。ミモザ北と南とありますが、エリアの区分なくどちらのミモザもご利用いただけます。

新型コロナウイルス感染症拡大の影響によって困難を抱える女性の皆さまにご活用いただくための拠点です。ぜひご利用ください。またそういった女性をご存知の方々はぜひ、この女性の支援拠点【ミモザ】についてお伝えください。



お問合せ・ご相談・ご予約

【ミモザ北】
電話 090-6457-7887
メール iwate.mimosza@gmail.com
【ミモザ南】
電話 090-1375-4103
メール sodan@manmaru.org

2021夏号コラム COLUMN

エネルギーも地産地消! 岩手が生んだエネルギーを岩手で使って、地域貢献!

ハクセル美穂子の政策【子育て支援】をエネルギー分野から!

5月中旬、私は所属する商工建設委員会の調査で久慈市を訪れました。久慈市を調査先としたのは、岩手県企業局が滝ダム(久慈市小久慈町白山)で作っている電気を購入し、その電気を久慈地域の公共施設等に供給している久慈地域エネルギー株式会社(以降、久慈地域エネルギー(株))の取組みを調査するためです。



久慈地域エネルギー(株)は、地域企業4社が集まり設立された売電事業(電気の小売り)を行う会社です。2016年4月に国により電力小売りが全面自由化され、電気を私たちへ売る事業者が発電事業者(例:東北電力(株)など)と分離されました。そのことにより、全国各地で電気の小売り事業に参入する企業が増え、現在ではいろいろな名前の電気会社が電気を売っていますし、実際に新規参入の電気小売り事業者から電気を購入されている人も多くなってきました。久慈地域エネルギー(株)もそういった電気小売事業者の一つです。しかし、久慈地域エネルギー(株)が他の電気小売業者と違うのは、①岩手で作られた電気を岩手で生きる皆さんに供給する地産地消に取組んでいること、②事業で得られた利益の一部を地域に還元していきこうという目標を持って電気小売り事業を行なっているという点なのです。



久慈地域エネルギー(株)が目指す四つのポイント

- | | | | |
|---------------|----------------------|--------|--------------|
| 1 自治体の電気料金の削減 | 2 電気事業収益の地域循環と地域の活性化 | 3 地産地消 | 4 地域の電気料金の削減 |
|---------------|----------------------|--------|--------------|

エネルギーに対する費用(エネルギー費)の多くが、これまでも今現在も、岩手県外の企業へ流出しています。久慈地域エネルギー(株)では、地域内の企業が電気小売り事業に取組むことで、流出していたエネルギー費を地域内にとどめ、事業から得られた利益を地域の子育て支援費などの活動に利用しています。このようにエネルギー費を地域内で循環させて地域の活性化を図る取組みに繋がっているのです。

また、市場からの電気調達のみならず、岩手県企業局が管理する滝ダム発電所(久慈市小久慈町白山)で作っている電気を購入し、地域で作った電気を地域で使うエネルギーの地産地消に取組まれています。これは、サステナブルな(持続可能な)地域づくりを県民生活の根幹であるエネルギーの分野から支える大事な取組みであると感銘をうけました。

岩手県企業局の電気を、より多くの県民の皆さまに利用していただけるような地産地消の取組みが県内各地に広がっていく事で、岩手県企業局が行う発電事業の長期的な価値、特に持続可能な地域社会づくりの創造が図られます。

県議会においても、久慈地域エネルギー(株)が取組むサステナブルな地域づくりが県内各地に波及していくように必要な支援策の充実を図っていきます。

皆さまもぜひ、エネルギーの地産地消に注目してみてくださいね!

ハクセル美穂子の活動や県政レポートの内容のみならず、身の回りの出来事の中で県行政に関わる事を「質問したい!」「現場の思いを伝えたい!」など、ご質問・ご意見はこちらまで↓



ハクセル美穂子
ホームページ